

公募審査(採択)結果の公表

令和6年1月24日
資源エネルギー庁電力・ガス事業部
ガス市場整備室

事業名: 令和5年度災害時の強靱性向上に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金(補正予算に係るもの)

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
一般社団法人 都市ガス振興センター	1010405006012	1,273,327,000

(提案事業者名)

①一般社団法人都市ガス振興センター

(審査委員属性)

元大学特任教授

大学名誉教授

民間企業職員

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般社団法人 都市ガス振興センター	36	38	39	113

提案事業者名	応募資格	事業内容	事業実施体制	事業実施計画	合計
一般社団法人 都市ガス振興センター	適	35	47	31	113

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
一般社団法人 都市ガス振興センター	・事業者がR5年度に実施した申請減少エリアのガス事業者に対する訪問勉強会はそれなりの実績を残していることから評価できるし、事業者は、過去実績と関連技術的分野での知見は有しているとおもわれるため採択予定者に選定してよいと思う。ただ本申請に限っていえば、「調査役」「派遣人材数名」がどのグループに属し、どこが担当するのか組織図に記載がない。どのように業務を進めていくのか表現が抽象的で、外注が今何故必要かどのように外注効果を生み出すなどの記載もない。申請者が採択された場合は、これらの実施体制と目指すところを明確にして業務に臨むことが必要と思料します。 ・申請者は本事業の関連分野に関する高い見識を有し、過去の実績も十分に蓄積していることから、執行団体として相応しいと判断できる。ただし、パワーポイントの資料による「補助事業の目的を達成するための取り組み」および「補助事業の成果を高める取り組み」はわかりやすいものの、多くの経験をしている申請者としては具体的な内容に関して乏しく、物足りなさを感じる。今回の能登半島地震などを参考にして、災害時にひっ迫して強靱性の向上を必要とする建築物、施設などを抽出して、申請件数・実施件数を増やすことに注力して見てはどうか。PR活動としては、ガス事業者・メーカに重きを置くのは当然として、設計事務所やゼネコン等にも説明会を開いてはどうか。 ・過去に類似の業務を実施した実績を十分有しており、事業内容、実施体制、実施計画も妥当と考えられることから、採択予定者に選定してよいと判断する。